

第4回上津屋橋（流れ橋）あり方検討委員会

会議次第

日 時：平成27年3月13日(金)

午前10時から正午まで

場 所：京都平安ホテル

2階 白河の間

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 第3回検討委員会の概要について

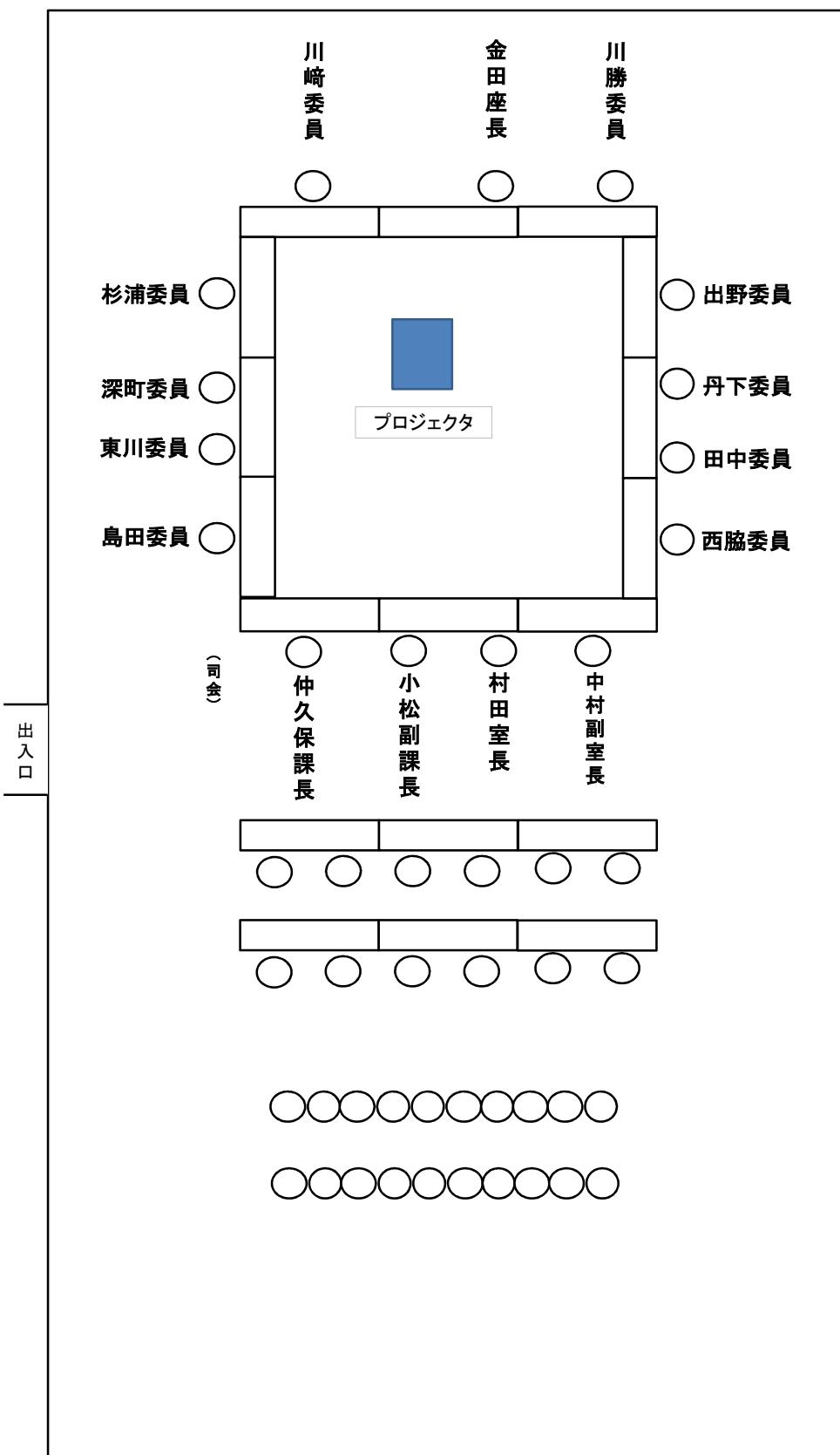
(2) 今後の管理に関する取り組みについて

(3) その他

4閉会

第4回上津屋橋(流れ橋)あり方検討委員会座席図

平成 27 年 3 月 13 日
場所：京都 平安 ホテル



第3回上津屋橋（流れ橋）あり方検討委員会 議事録（要約版）

1. 開会

委員紹介

2. あいさつ

京都府建設交通部東川部長よりあいさつ

3. 地元要望書の紹介

事務局) 八幡市中区からの要望書を説明。

事務局) 前回以降、7,894名、前回からを含め約12,800名の署名をいただいた。意見募集結果について系統分けを行った。

4. 議事

配付資料確認

（1）第2回検討委員会の概要について

事務局) 前回議事録確認。

座長) 他に、橋面の嵩上げに関しては景観上の問題もあることを追記していただきたい。

事務局) 了解。

（2）第2回検討委員会の補足説明について

事務局) 資料-2説明。

（3）流れ橋の復旧方針について

事務局) 資料-3説明。

川勝委員) ライフサイクルコストの算定において、擬木の使用を想定しているのか。また、復旧方針案の比較においてコストに対する評価はどうなるのか。

座長) 時間を要するようなので後で回答していただく。痕跡水位の計測方法は。

事務局) 水位が下がった後に、茶畠の柵等にごみが跡で残る。これを痕跡として計測している。

東川委員) 下部工には擬木が使えないのか。

事務局) PHC杭を下部工として使いたいが、その場合、木のような模様をつけることができない。

座長) 製品がないということか。

事務局) 現時点では製品ではなく、技術開発が必要である。

杉浦委員) PHC杭の周りに木目調のカバーをするということもできるのではないか。

杉浦委員) 高所からの転落による人体への影響に関して数値を調べてみた。ヘッドインジャリー

クライテリアという数値が 1,000 というのが目安としてあり、遊具の安全性評価にも使われている。衝突速度にすれば約 40km/h であり、自由落下で地面に衝突する速度が計算できるので 6m 程度の落下に相当し、この数値から言うと致死率は 10% からそれ以下程度になる。事務局より提案された数値もいいところをついていると思うが、決まった計測機器があるらしいので、計測してみるという手もある。

事務局) 川勝委員の質問に対する回答であるが、ライフサイクルコストで示した金額は擬本でなく前回提示したコンクリート+木のハイブリッド橋脚での金額である。復旧方針案については現時点ではコストは算定していない。

座長) 橋面の嵩上げ高については、H-Q 式という推定式よりも痕跡水位で決めるというのが現実的で正確であり、また、水位が橋面よりも 30cm 程度上昇した時に流出しているということであれば、前回示された嵩上げ高よりも 1m 低い数値で検討すればよいというのが事務局の整理結果である。橋脚の径間長を延長することについては前回の検討委員会で理解を得られており、あと、防護柵については、先ほどの説明では増水時に撤去するとあったが、誰が撤去するのか。

事務局) 道路管理者と考えている。

島田委員) 一般の人が通る道路であるため、橋が流れる寸前ではなく、水位が一定基準高に達した段階で通行止めを実施する。更にそれよりも水位が上がった段階で流水を阻害しないように防護柵については撤去するということになる。

座長) 現在でも水位が一定の高さになったら通行止めとしているのか。

島田委員) はい。

座長) 防護柵については 1.1m の高さが必要であるということであったが、個人的な意見としては、柵があるから安全というふうに安全神話みたいなものができるとかえって危険ではないか。無理に防護柵を付ける方が問題を増幅する気がする。

杉浦委員) 防護柵には結構な力がかかる。桁との接合部が簡単にはできないことから、むしろない方が安全確保のためにいいのではないか。

川崎委員) 通常こうした公共施設として新橋をつくる時は、高欄の設置が必要であるということを発言した。こういう形で安全性を確認していただき、使い方もサイン等もしっかりとやっていただければ、八幡市の地元からの要望書でもオリジナルデザインを重視してもらいたいということもあり、景観的にも現状のままがよいと思う。

座長) 安全対策の検討は後でまた議論するとして、技術上も、景観上からも高欄はない方がいいという意見が強い。基本的に高欄の設置は考えないこととした。そうすると挟み木の高さを 25cm とする案を事務局で出しているが、現状の高さは。

事務局) 約 10cm である。

座長) 25cm にするメリットは。

事務局) 目印となるものが大きくなるので、端部に寄らなくなる効果があると考える。

西脇委員) 25cm になるとどうなるかイメージが湧かない。

事務局) 車道と歩道を分ける縁石の高さがおおむね 25cm であり、その高さを準用している。

川崎委員) 景観上でいうと、微小な変化である。

川勝委員) 個人的な印象で結構違うと思われる。何を重視するかということもあるが、10cm のままでという案も選択肢としてあるかと思う。

川崎委員) 安全上でいうと、おそらく 25cm の方が自転車に対する転落防止効果もありポイントは上と思われる。

座長) 自転車は原則降りて通行ではないか。

事務局) 実際に何人かの者は乗って通行していたりするようである。

座長) 提案であるが、特に構造上問題ないのであれば、工事の段階で高さについて実際試してみて決めるというのはどうか。

杉浦委員) 維持管理の中で高さを変えていくことも可能である。

座長) 次に安全対策の検討であるが、看板の設置についてどうか。現在は設置しているのか。

事務局) 文字だけの看板は設置している。

川勝委員) 看板は注意喚起のために必要であるが、景観上の配慮として、木製看板・手書き文字が良いと思う。

杉浦委員) 夜間はどれくらい通行しているか。

事務局) 照明が無く、真っ暗なのでほとんど無いと思われる。

座長) 夜は管理上、閉めきっていないのか。

事務局) 閉めきっていない。

杉浦委員) 蛍光材料とかでどこを歩けばいいか示すというのも良い。

座長) 今回事務局提案の 0.75m の嵩上げ等、高さを変えた合成写真が資料としてあるが、意見はないか。

川崎委員) 0.75m の嵩上げというのは絶妙な高さを提案していると思う。合成写真ではプロポーション的には現橋よりきれいに見えるかもしれない。橋脚をどういう素材でするかということもあると思うが、事務局提案の 0.75m 程度の嵩上げであれば、景観に対してそれほど大きな影響を与えないと思うので、事務局の提案で大丈夫ではないか。

西脇委員) 市役所の観光担当部署からの情報で、現在、映画会社にて、現橋での復旧ということで署名活動があると聞いている。0.75m 程度の嵩上げであれば許容範囲と思うが、橋脚がコンクリートのような感じになると違和感がある。できる限り木で作られたというイメージをもつものでお願いしたい。

川崎委員) 渡月橋の橋脚（コンクリート）を見て、それほど違和感はないのではないか。笠がついて陰ができ桁下は暗くなっている。少し離れて見れば木目のようなテクスチャーはわからない。今回は、洪水対策の効果のほうをとったほうがよいと思われる。

座長) 杣は上の方は擬木で下を PC のコンクリートでと考えているのか。

事務局) 杣は全体を PC のコンクリートとし焦げ茶色に着色することを考えている。但しそれは中央の 3 本のみであり、外側の 2 本の杣は木のまま残す。

座長) 色を塗るのか。

川崎委員) 色を塗る場合もあるし、コンクリートそのものに顔料を混ぜる場合もある。

杉浦委員) コンクリートを後から吹き付けるという技術（ショットクリート）もある。

東川委員) 先ほど映画会社のほうからの要望ができるのではないかという話があったが、ぜひ撮影にこの橋を頻繁に使っていただけるようにお願いしていただければと。

座長) 嵩上げすることで橋へのスロープが必要となる点について意見はないか。

杉浦委員) そのまま盛土で擦り付けてはダメなのか。

事務局) 河川管理上、阻害とならないような形で、河川管理者と調整したい。

座長) 景観に配慮して違和感のないように検討していただきたい。

座長) 基本的に 0.75m 嵩上げした形で復旧する。挟み木については、工事実施時において実際試したうえで検討する。橋脚の中心となる 3 本については強度のあるコンクリート製を採用するが、できるだけ木質に見えるような工夫をするという方向で議論いただいた。管理については、現状の維持管理に加えて、案内看板の工夫等検討いただく。流木止めについてはこれからもまだ検討を続けていく。本日、基本的な方向性が出たので、具体的な実施設計に入っていくことは可能ではないか。

杉浦委員) 実施設計に向けての検討事項として、現橋の橋脚において 3 本杭のところと、上部工を繫留する 4 本杭のところがあるが、今回、3 本杭としてすべて統一されるとすれば、繫留する橋脚の負担を考えると上部工をそれほど連結しないほうが復旧し易さ等考えてもそのほうが良いかもしれない。ライフサイクルコスト含めて検討していただきたい。

川勝委員) 最後の総合評価において、安全性、景観性、流れにくさに加えて、経済性という指標も含めて総合評価という形が望ましい。

西脇委員) 観光客から「いつ復旧するのか」との問い合わせが多い。

事務局) 来年度中にはなんとか復旧したい。

(4) その他

座長) 委員会としてはこれで終わりか。

事務局) 管理方法等、年度内にもう 1 回議論していただきたい。

5. 閉会

(以 上)

今後の管理に関する取り組み

今後の管理に関する取り組み

2

①検討の背景

これまでの検討を通じ、木橋としての復旧を選択するに際し、地域や府民をはじめとし、全国の方からご意見が寄せられ、流れ橋の地域資源、観光資源としての重要性や価値を確認したところ。

次代に継承すべき資源として、流れ橋の持続可能な管理が重要。

そのためには、流れ橋に関する情報発信、管理に当たっての地域社会等との連携や多様な担い手の参加などを通じ、流れ橋についての理解深化と愛着意識の醸成を図り、愛され大切にされる施設とすることが必要。

②流れ橋の管理の現状と課題

■現状

昭和28年の架設以来、60年間で21回流出、近年は平成23年から4年間連続して流出。点検、調査、補修といった通常の維持管理を管理者(京都府)が実施。地域住民は、不定期で流れ橋周辺の清掃活動を実施。流れ橋に関する情報発信は地元自治体観光協会や四季彩館のホームページおよび四季彩館の施設内展示による情報提供が中心。流れ橋を軸としたルートのウォーキングイベントなど、流れ橋を活用したイベント等が年間数回企画・開催されている(運営主体:地元・周辺自治体、旅行会社、鉄道会社等)。自転車や自動二輪車に乗車したままの通行が一部に見られ、安全上問題がある。

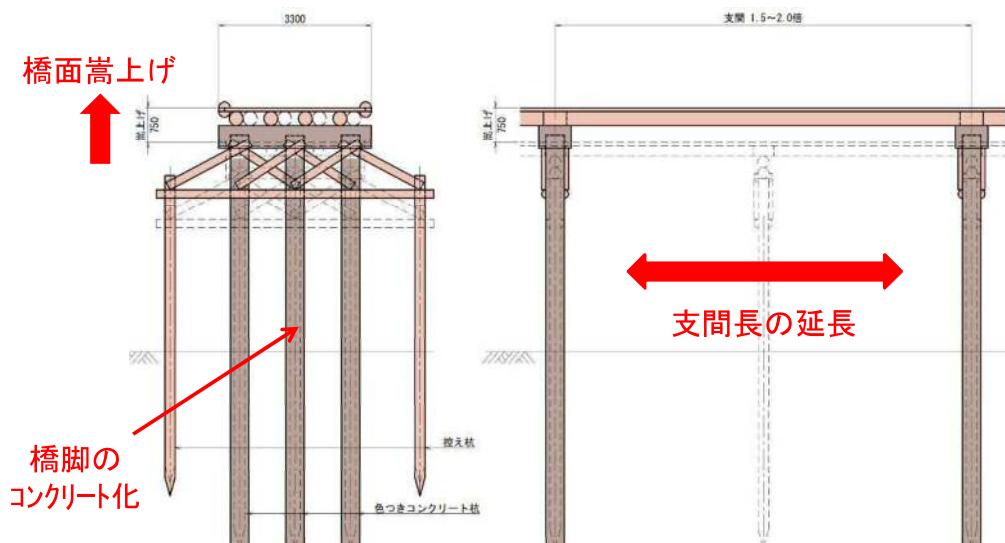
■課題

連続した流出により不通期間や維持管理費が拡大していることから、流れにくい構造への転換が必要。地域が参加・活動しやすい活動機会の整備が必要。来訪者・観光客が参加・活動しやすい活動機会の整備が必要。流れ橋を知ってもらい、愛着を持ってもらうための積極的な情報発信・PRが必要。より快適、安全に利用してもらうための適正管理が必要。

③課題解決に向けた現在の取り組み

■流れにくい構造への転換に向け、以下の検討を進めている

【橋面の嵩上げ】 【橋脚のコンクリート化】 【支間長の拡大】



④今後の管理に関する取り組み

- 住民、来訪者・観光客等の参加
- 適正利用・安全対策
- 流れ橋に関する更なる情報発信・PR
- 活動費の確保－資金の調達、基金の設置

■住民等の参加

(取り組み活動例)

【地域住民】

地域住民は日常的な管理として、流れ橋周辺を含めたゴミ拾いや美化活動に参加。
また、流れ橋の適正利用、利用者に対する声掛け(走らない、端に寄らない等)や安全パトロール等を行う。

【観光客等の来訪者】

来訪者は体験イベント(点検体験、防腐剤塗布体験等)に参加(スタディツアー・ボランティアツアーや等経由)。

【府民・国民】

サポーター制度による活動資金調達を含めた管理活動についても検討。

(実施に向けた課題)

【地域住民の参加】地域への呼びかけや参加意識の醸成、活動内容の調整が課題。

【来訪者の参加】イベントの企画・運営、広報・PR等が課題。

【府民・国民の参加】サポーター制度の構築、基金の設置、制度の広報・PR等が課題。

⇒実施体制の構築が課題。

■住民等の参加による管理(事例)

	事業名	実施主体	参加主体	概要
地域住民	かわ普請事業	徳島県	地域住民が組織する特定非営利活動法人等	<p>徳島県が管理している河川において、「自分たちが望む、親しめる川づくりを自分たちで」という地域住民の希望のある箇所について、地域住民自身が簡易な施設を整備したり、維持管理を行ったりするアドプト事業を発展させた取り組み。</p>  <p>マルタルを連った監所への 青石護岸の張り付け</p> <p>資料:精選手づくり郷土賞 (平成25年度)</p>
	公共施設管理サポート制度	鳥取県土整備事務所	県土整備事務所長から認定・登録を受けた県民	日常のパトロールにより「住民視点」で気付いた点を管理者へ報告すると共に、簡易なゴミ等については自ら処理し、土木施設の円滑な維持管理につなげているもの。
来訪者	スタディツアーア・ボランティアツアー	旅行会社	個人	地域活性化など地域の課題解決をテーマとし、それに参加することで課題への理解や見識を高めるもの。被災地復興や多雪地域での雪かきボランティア等を組み合わせたツアーがある。
サポーティング制度	歴史遺産・産業遺産(トンネル群)の保存	NPO法人愛岐トンネル群保存再生委員会	会員(年会費一口3,000円)(基金制度(一口1,000円))	愛知県春日井市に残る旧国鉄中央線の鉄道遺構「愛岐トンネル群」を自然豊かな散策路などに再生し、次世代につなげていくため、ナショナル・トラスト活動を開始。会員制度および基金制度を設け、NPOが跡地用地(約16ha)の買い取りを実現。

■住民等の参加による管理(京都府の事例)

事業名	実施主体	参加主体	概要
さわやかボランティア・ロード事業	京都府	ボランティア団体(団体・地元自治会・企業等) 106団体 (※平成26年度末時点)	住民、地元企業の方に、府が管理する道路の一定区間を定期的に清掃や除草・植栽管理等のボランティアを行ってもらう取り組み。 府は看板の設置、清掃用具等の貸与若しくは支給、ボランティア保険(損害及び傷害)の加入等を行うとともに、市町村に、清掃回収した一般廃棄物の処理等をしてもらうよう調整を図る。



■住民等の参加による管理(京都府の事例)

事業名	実施主体	参加主体	概要
うるおい水辺パートナーシップ事業	京都府	ボランティア団体(団体・地元自治会・企業等) 29団体 (※山城広域振興局管内、平成26年度末時点)	地域の住民団体等が、府が管理する河川の一定区間ににおいて実施する定期的で継続的な美化清掃や環境保全、調査研究その他河川愛護のボランティア活動に対し、府や地元市町村が支援する事業。府は用具・研究資材の貸与・支給やボランティア保険加入及びサイネ表示(看板設置)等の支援や広報などを行い、市町村には清掃回収された一般廃棄物の処分や広報その他の活動支援を依頼。

▼古川を美しくする会の活動状況

(古川 久御山町)



▼NPO法人22世紀八幡ルネッサンス運動の活動状況

(大谷川 八幡市)



▼市辺櫻集会の活動状況(青谷川 城陽市)



資料:京都府ホームページ

今後の管理に関する取り組み

10

■適正利用

(取り組み活動例)

自動二輪車の通行禁止、自転車の押し歩きを呼びかける看板設置。

歩行者の転落注意、端に寄らないことを呼びかける看板設置。

地域住民等の協力を得て、有人による注意喚起の声掛けやパトロールを実施。

現場における適正利用に向けた集中的な指導や啓発活動の実施。

自治会や小学校等での啓発活動、パンフレット・ポスター等の作成・配布。

【注意喚起看板例】



(鴨川での事例)

【パンフレット・ポスター等の作成例】



■安全対策

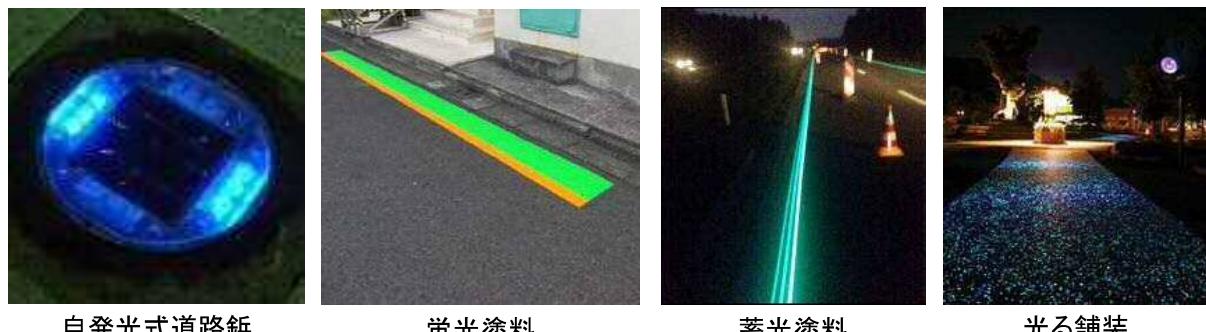
(取り組み事例)

蓬莱橋では高欄下にLEDソーラーライトが設置されており、安全対策に合わせて夜間のライトアップ演出の効果もある。

道路の夜間安全対策としては、自発光式道路鉢、蛍光塗装、蓄光塗料、光る舗装等の実績がある。



蓬莱橋の事例



自発光式道路鉢

蛍光塗料

蓄光塗料

光る舗装

■流れ橋に関する更なる情報発信・PR

(取り組み内容例)

四季彩館内における流れ橋に関する展示施設や周辺での案内板などの充実。

四季彩館ホームページや地元自治体ホームページ等における、流れ橋に関する更なる情報発信、

(四季彩館ホームページ)流れ橋の管理活動のPRや活動報告記事の掲載、
流れ橋のパンフレット・四季折々の流れ橋の写真など
のダウンロード機能

(地元自治体等ホームページ)四季彩館ホームページへのリンク

(実施に向けた課題)

各種コンテンツ(展示内容やホームページの記事等)の作成や定期的な更新が課題。

■活動費の確保－資金の調達

(取り組み内容例)

【寄付付き商品の販売】

企業の協力を得て、四季彩館や八幡市・城陽市・久御山町で販売する特産品や土産物等の売り上げの一部を寄付し、流れ橋の管理活動に充てる(社会貢献型自動販売機等)。

【募金箱の設置、募金の受付】

四季彩館や八幡市・城陽市・久御山町内の公共施設等に募金箱を設置し、流れ橋管理への活用を目的とした募金や寄付を募る。

(実施に向けた課題)

【寄付付き商品の販売】

寄付付き商品の開発や販売方法の設定、寄付額の設定、これに関する協力企業との連携・調整が課題。

【募金箱の設置、募金の受付】

募金箱の設置箇所や管理、募金の周知・広報が課題。

■寄付付き商品の販売(事例)

商品	事業者・運営組織	概要
寄付付きワイン	公益財団法人 京都地域創造資金 丹波ワイン株式会社	京都地域創造基金が丹波ワイン株式会社との協働で企画した寄付つきワイン。1本あたり50円(売価から25円+丹波ワイン株式会社の寄付25円)が公益財団法人京都地域創造基金「若年性認知症サポートファンド」に寄付される。
寄付付きハッ橋	財団法人京都市景観・まちづくりセンター 株式会社井筒ハッ橋本舗	株式会社井筒ハッ橋本舗が、京町家まちづくりファンド事業に協賛し、同社のハッ橋を寄付金付き商品として販売。同商品の売上金の一部が「京町家まちづくりファンド」に寄付される。 
寄付付き米	新潟県佐渡市 コープにいがた	コープネット事業連合の会員6生協の店舗と宅配サービスで販売する「CO-OP 新潟佐渡コシヒカリ」を対象に、販売したお米1キログラムに付き1円が「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付される。
寄付付き自動販売機	自動販売機設置先 飲料メーカー 日本ナショナル・トラスト協会	設置先と飲料メーカー(サントリー、コカ・コーラ、伊藤園)とが契約をし、売上手数料の何%を寄付金とするか定め、飲料メーカーからナショナル・トラスト協会へ寄付される。  

■活動費の確保ー基金の設置

(取り組み内容例)

民間からの寄付などを通じ調達する活動費の受け皿として、また住民等の参加活動を支える資金として、流れ橋の管理を目的とした基金を設置する。

(実施に向けた課題)

資金の管理

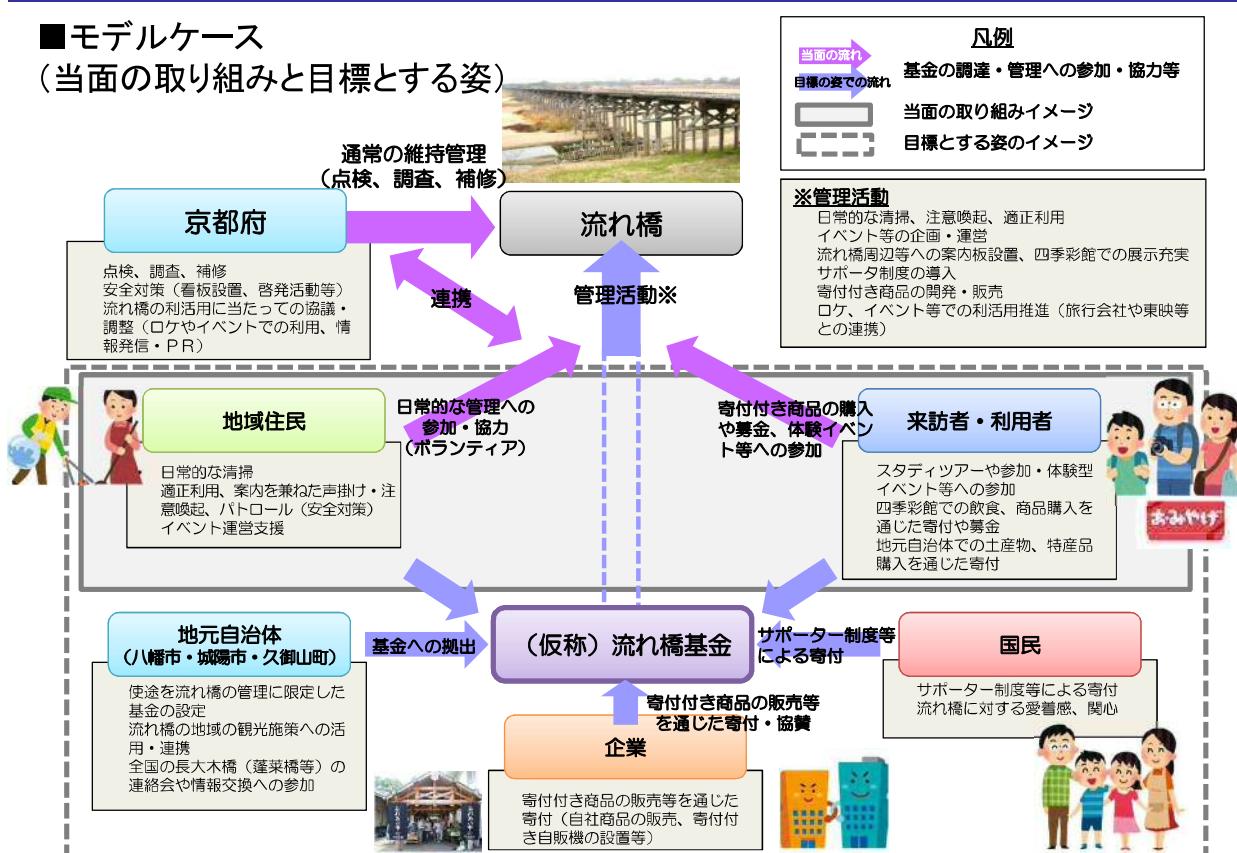
関係機関(施設管理者、地元自治体、協力企業、地域等)との調整

管理活動の企画・運営(イベントの企画・運営、活動報告の作成・配信等)

→基金を管理する組織の構築が課題。

■モデルケース

(当面の取り組みと目標とする姿)



■参考:流れ橋来訪者アンケート結果(抜粋、H26.5.3実施)

調査概要

【調査目的】「流れ橋」観光の実態を把握するため、来訪者を対象としたアンケート調査を実施。

【調査方法】平成26年5月3日(土・祝)※(10時～17時)において、「流れ橋」を訪れた来訪者を対象に聴き取り方式にて調査を実施。

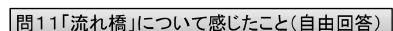
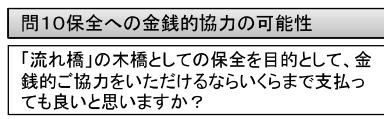
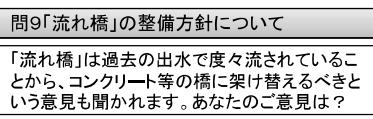
回収票は170票。(※ゴールデンウィーク後半最初の休日)

調査結果の概要

「流れ橋」観光を目的とした旅行(外出)で、自家用車・レンタカーや自転車による日帰り旅行が主な観光形態。

「流れ橋」の満足度は非常に高く、「タイムスリップしたような懐かしい風情」、「風景に溶け込んだ景観」を高く評価。

「流されても今のままの木橋を保全すべき」とする意見が大半であり、保全に対する金銭的協力についても積極的。



【情報提供・PRについて】

もう少しうまくPRをして有名になってほしい。/もっとアピールすべき。

もっと流れ橋の説明ボードとかあればと思った。/説明文を近くに表示してほしい。

【保全への金銭的協力について】

募金箱を置いて通行料を取ればいい

①商品の価格(売り上げ)の一部を保全にまわす。②募金箱をおく等。③口ケする人、映画業界に負担してもらう。

【観光資源としての活用について】

サイクリングロードとのつながりがある(サイクリングの人多かった)。車のアクセス、パーキングからのアクセスがよい。観光地としての整備ができるのでもっと活用して人をよびこむ。

おみやげで流れ橋の名物があればいい
おみやげ売場がないのが残念

■参考:流れ橋における時代劇ロケの実施状況

◆平成元年以前

年 度	撮影回数	主な番組	撮影場所
昭和32年度	1回	名君剣の舞	堤、橋上
昭和37年度	1回	森の石松鬼より恐い	堤、橋上
昭和38年度	2回	富士に立つ若武者、ひばり・チエミの弥次喜多道中	橋上、橋下、堤
昭和39年度	1回	ちいさこべ	橋上
昭和40年度	1回	丹下左膳	橋上
昭和41年度	3回	大殺陣、大喧嘩、眠狂四郎女妖剣	橋上
昭和42年度	9回	風、大勝負、股旅三人やくざ、俺は用心棒、仮面の忍者赤影	橋上、河原、河川敷
昭和43年度	3回	若き吉宗の恋、夜に消えた、黒い手袋の殺人鬼	橋上、河原、周辺
昭和44年度	13回	俺は用心棒2、あゝ忠臣蔵、天を斬る、大坂城の女、尻啖え孫市、新撰組	橋上下、堤下民家
昭和45年度	12回	雪之丞変化、燃えよ剣、銭形平次、新三匹の侍、大江戸捜査網	橋上下、堤と法面
昭和46年度	3回	軍兵衛目安箱、絵島生島、女の花道、女人武藏	橋上下、川中、堤
昭和47年度	3回	地獄の辰捕物控、銭形平次、長谷川伸シリーズ	橋脚(橋桁無)、河原
昭和48年度	9回	必殺仕置人、ぶらり信兵衛道場破り、長谷川伸シリーズ、助け人走る	橋上、汀、シルエット
昭和49年度	14回	ぶらり信兵衛道場破り、おしどり右京捕物車、座頭市物語、大岡越前4	橋上、河原、川中、堤
昭和50年度	10回	影同心、銭形平次、遠山の金さん、宮本武蔵	橋上、橋脚、川中
昭和51年度	7回	必殺仕業人、必殺からくり人、新・座頭市、桃太郎侍	橋下、堤、河原
昭和52年度	7回	桃太郎侍、新必殺からくり人、新・座頭市2	橋上、河原、堤、橋邊景
昭和53年度	13回	柳生一族の陰謀、風鈴捕物帳、吉宗評判記 暴れん坊將軍、銭形平次	橋上、河川敷、側面遠景
昭和54年度	15回	赤穂浪士、翔べ！必殺うらごろし、必殺仕事人、江戸の牙	遠景(富士合成)、橋上
昭和55年度	18回	服部半蔵 影の軍団、雪姫密道中記、必殺仕事人、斬り捨て御免！	橋、河原、堤
昭和56年度	24回	仕掛人梅安、着ながし奉行、新必殺仕事人、江戸の用心棒、銭形平次	橋上、堤、船上
昭和57年度	15回	影の軍団 III、新必殺仕舞人、源九郎旅日記 姫の暴れん坊	橋脚(橋桁無)、河原、橋上
昭和58年度	12回	新・松平右近、必殺渡し人、かけろう絵図、大奥、暴れん坊將軍 II	堤、河原、橋上
昭和59年度	12回	必殺仕事人 IV、必殺！THE HISSATSU、暗殺指令、長七郎江戸日記	橋上、堤道、河原
昭和60年度	11回	必殺仕事人 V、影の軍団IV、影の軍団幕末編、長七郎江戸日記	堤、橋上、河原
昭和61年度	8回	必殺仕事人V激闘編、長七郎江戸日記SP、白虎隊、暴れん坊將軍 II	河原(橋桁無)、堤、川中
昭和62年度	14回	野風の笛、必殺仕事人V風雲竜虎編、三匹が斬る！、長七郎江戸日記2	橋上、橋下手汀、河原(橋損傷)
昭和63年度	17回	名奉行 遠山の金さん、必殺ワイド、御存知 鞍馬天狗、五稜郭 第二部	橋上、橋脚、河原

■参考:流れ橋における時代劇ロケの実施状況

◆平成元年以降

年 度	撮影回数	主な番組	撮影場所
平成1年度	13回	付き馬屋おえん事件帳、続続・三匹が斬る!、十三人の刺客	橋上、河原、堤
平成2年度	16回	あばれハ州御用旅、名奉行遠山の金さん3、暴れん坊将軍 III SP	橋上、橋下、河原
平成3年度	15回	暴れん坊将軍 IV、必殺仕事人・激突!、岡つ引どぶ	橋上、橋下、河原
平成4年度	8回	銭形平次2、徳川武芸帳 柳生三代の剣、新・三匹が斬る!	橋上、橋脚脇、汀
平成5年度	6回	銭形平次3、暴れん坊将軍 V、父子鷹	橋上、橋下
平成6年度	5回	名奉行 遠山の金さん6、銭形平次4、暴れん坊将軍 VI	橋上、橋下、河原
平成7年度	2回	侠客 帰隨院長兵衛、雲霧仁左衛門	橋上、河原、河原(橋桁無)
平成8年度	9回	炎の奉行大岡越前守、新・御宿かわせみ、鬼平犯科帳7	橋上、橋たもと、川中
平成10年度	4回	隠密奉行 朝比奈、新選組血風録、剣客商売、暴れん坊将軍9	橋上、橋下、河原
平成11年度	5回	痛快!三匹のご隠居、剣客商売2、京極夏彦 怪	橋上、橋下、河原
平成13年度	3回	千年の恋 ひかる源氏物語、聖徳太子、陰陽師	橋上、橋下手河原
平成14年度	7回	子連れ狼、怪談百物語、忠臣蔵 決断の時	堤、河川敷、橋上
平成15年度	3回	子連れ狼、竜馬がゆく、新選組!	橋上、橋下、河原
平成16年度	3回	丹下左膳、忠臣蔵、鬼平犯科帳スペシャル	橋上、橋下、橋シエルット
平成17年度	4回	盤嶽の一生、河井継之助 駆け抜けた蒼龍、天下騒乱 徳川三代の陰謀	橋上、橋下、河原
平成18年度	7回	水戸黄門36、太閤記、白虎隊	橋上、橋下、河原、橋たもと
平成19年度	3回	必殺仕事人2007、素浪人 月影兵庫、黙撃戦隊ゲキレンジャー	橋上、橋下
平成20年度	2回	刺客請負人2、必殺仕事人2009	橋上
平成21年度	2回	必殺仕事人2009、柳生武芸帳	橋上、橋下(橋桁無)
平成23年度	2回	鬼平犯科帳スペシャル、必殺仕事人2012	橋上、橋下(橋桁無)
平成24年度	1回	大奥 ~誕生[有功・家光篇]	橋上、橋下
平成25年度	1回	女信長	橋上